

平成25年度 工芸技術記録映画

企画 文化庁

製作 桜映画社

35ミリ・カラー・37分

瀬戸黒

— 加藤孝造のわざ —

しっとりとした艶のある黒い肌、

風格のある形、穏やかな佇まい…。

手回しのロクロで土はかたちになり、

吹き出す炎の中から、

加藤でしかあらわすことのできない

“黒の世界”がうまれてくる。



Setoguro

The Art of KATO Kozo

FY2013 Craft Technique Documentary
35mm/Color 37min.

Presented by Agency for Cultural Affairs
Produced by Sakura Motion Picture Co., Ltd.

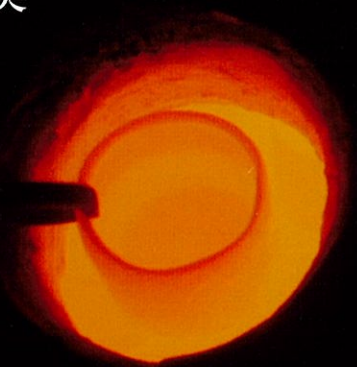
The creation of *Setoguro* or Black Seto tea bowls, along with that of *Shino*, *Oribe* and *Kiseto* bowls, can be traced back to the Momoyama Period, the latter half of the 16th century. KATO Kozo, the holder of the Important Intangible Cultural Property of *Setoguro*, uses a kiln closely similar to the *Mino Ogama* large semi-underground kilns of that period. His *Setoguro* works are acclaimed for their calm, dignified beauty. When the shapes he forms on his unique hand-push wheel emerge from the kiln's red-hot flames, they have a rich, darker than black glaze.

瀬戸黒の美 —加藤孝造の世界—

岐阜県現代陶芸美術館館長 榎本 徹

瀬戸黒は特殊な技法である。窯の温度が上がり、釉薬が溶けたのを見計らって、長いはさみを使い、窯から引き出すのである。そこから「引出し黒」とも呼ばれる。この技法について、私には忘れられない思い出がある。数年前のこと、私たちの美術館に中国陶磁の研究者が二人訪ねてきたことがある。その時開催していた荒川豊蔵の企画展に彼らを案内した。そこで瀬戸黒の技法を話したのだが、彼らはともに、そのような技法を、全く信じようとしなかったのである。そのようなことをすれば、茶碗は割れるに違いないと言っているのである。次に来るときには、その技法を見せるといったのだが、まだ果たしてはいない。

加藤孝造は、この荒川の弟子である。岐阜県陶磁器試験場で、さまざまな窯や燃料に精通していた加藤は、日本伝統工芸展に出品していた縁で、荒川と知り合い、師事するようになった。その荒川は、志野と瀬戸黒の二つの技術で、重要無形文化財、いわゆる人間国宝に認定されていた。加藤は荒川からその二つを受け継いだ。とくに、瀬戸黒は、荒川の指導で築いた窯で、研究に研究を重ねた。その結果が今日の加藤の瀬戸黒である。手こわい中にたおやかなを秘めた造形と、引き出すことでしか得られない艶やかな黒は、加藤の独壇場と言ってよい。桃山以来400年の伝統を育み続けた美濃の成果を、渾身の力で受け継いだ加藤の、真剣勝負とも言える技をご覧いただきたい。



1. プロローグ

Prologue

2. 加藤の窯と仕事場

KATO's studio and kiln

3. 茶碗の成形

Shaping the tea bowl

4. 釉薬の施釉

Glazing

5. 恩師たちとの出会い

Encountering mentors

6. 焼成1窯の炙り焚き

Firing 1: Aburi-daki slow heating

7. 焼成2攻め炊き

Firing 2: Seme-daki heavy stoking

8. 焼成3瀬戸黒の引き出し

Firing 3: Removing a Setoguro from the kiln

9. 窯出し

Removing the works from the kiln

10. エピローグ

Epilogue

協力

東京国立近代美術館
岐阜県現代陶芸美術館
可児市教育委員会
荒川豊蔵資料館
瑞浪市市之瀬廣太記念美術館
丸沼芸術の森
株式会社幸兵衛窯
熊谷陶料
堀俊郎
風塾の皆さん
語り
余貴美子

販売価格（消費税別）

DVD = 個人価格 5,000 円 ライブラリー価格（団体使用権付）30,000 円

16 ミリ = 260,000 円

DVD English for personal use ¥5,000 for public use ¥30,000 (tax not included)

加藤孝造 かとう こうぞう

昭和10年（1935）
岐阜県に生まれる
昭和29年（1954）
第10回日展（洋画）に初入選
昭和37年（1962）
日本伝統工芸展初入選
昭和41年（1966）
（社）日本工芸会（現（公社）日本工芸会）
正会員

昭和43年（1968）
第15回日本伝統工芸展優秀賞（朝日賞）受賞
昭和45年（1970）
荒川豊蔵に師事。助言を得て窯を築く
平成21年（2009）
日本陶磁協会賞金賞受賞
伝統文化ボーラ賞優秀賞受賞
平成22年（2010）
重要無形文化財「瀬戸黒」保持者に認定される
平成24年（2012）
旭日小綬章受章

重要無形文化財・関連作品DVD ※英語版も製作しております。詳しくはお問い合わせください。

『鉄釉陶器—原清のわざ—』39分 『白磁—井上萬二のわざ—』35分

『萩焼—十一代三輪休雪の鬼萩—』37分 『民芸陶器（じょうもんどうがん 縄文象嵌）—島岡達三のわざ—』37分

『小鹿田焼』37分 『色鍋島』29分 『日本の美術工芸—その手わざと美—』28分 『利休の茶』47分

DVDご購入のお問い合わせはこちらへ

株式会社 桜映画社

Sakura Motion Picture Co., Ltd.

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-1 千駄ヶ谷ビル4 階
Tel 03-3478-6110 Fax 03-3478-5966 Mail info@sakuraeiga.com
Sendagaya Bldg., 4-20-1 Sendagaya Shibuya-ku, Tokyo 151-0051, Japan
Tel +81-3-3478-6110 Fax +81-3-3478-5966 http://www.sakuraeiga.com